

第3回委員会の意見概要と対応について

1. 緑の基本計画の検討について

- 今回の計画は大改訂を行うということが、市民にも伝わるように骨太の方針を示してほしい。また、もっと他部局と連携して作成に当たってほしい。(蓑茂)
- 市職員向けの基本計画ではなく、市民が読みたくなるような基本計画にしてほしい。物語性が大切。(河上)
- 熊本市の歴史、文化、地域の特色を活かせる配慮を行い、独自の計画を検討していただきたい。(岩佐)



市対応状況

○「緑の量」の充実はもとより、緑の持つ機能や恩恵である「緑の質」の向上を図り、みんなが幸せに生活できる持続可能な「森の都」を目指す内容となるように工夫しました。更に他部局と連携し、熊本市の特色を活かした独自の事業を、いくつか盛り込みました。また、市職員だけでなく市民の視点に立ち、わかりやすく読みやすい内容にしました。

2. 基本理念について

- 「緑の質」とは何を指すのか、本計画における位置づけが重要である。(澤)。「新たな森の都」と「緑の質」の定義を定める必要がある。(内野)。「新たな森の都」と「緑の質」について読み解いて繋げてほしい。(柳井)。
- コンセプトの説明に、熊本市の歴史、物語を記載してはどうか。サブタイトルは長いため「熊本の緑。質の向上プラン」などでよいと考える。(蓑茂)



○基本理念の「新たな森の都」については、内容を踏まえた上で、表現を改めました。また第4章1. 基本理念において、「緑の質」の定義を明確にしました。また、基本理念に示されていた「新たな森の都」については、内容を踏まえた上で表現を改め、同章同頁にて、基本理念を新たに設定しました。

3. 基本方針、施策について

- 基本方針、施策体系は、「守る」、「育む」、「活かす」、「繋げる」のキーワードで上手にまとめて工夫されている。本計画では、市民にとってより身近で親しみやすく分かりやすいものに仕上げしてほしい。(河上)
- 量から質へという議論をすると、管理運営（マネジメント）を良くしていくことが大切なので、そこが伝わるようにしてはどうだろうか。(蓑茂)。せっかくできた公園緑地が管理不足から少し荒れて見えることがある。これからは今あるものを丁寧に育てていくことがいいのではないかと思う。(福西)
- 行政ができない取り組みを、市民、民間にやっていってもらう仕組みづくりが必要だと思う。(田中)。何でも行政に頼るのではなく、自分たちも協働して自分たちの街を作り上げるという姿勢が大切だと思う。一方、実際の作業に参加できない人たちが、肩身の狭い思いをしないような書き方もお願いしたいと思う。(福西)
- 「緑の質」について、プロの方の人材育成などが必要だと考えている。今後、職員の人数、組織づくりを今後期待したい。(伊東、岩佐)
- 緑化重点地区のエリアの設定とは別に、重点事業という話はないか。(蓑茂)。施策が総花的であるので、メリハリをつけることが大切である。(内野)。事業の重要度は千差万別であり、優先順位などからメリハリをつけ事業体系を整理する必要があると思う。(岩佐)。
- 熊本市の「緑」の将来像については地図のみではなく、どのような姿を目指しているといった具体的なものを示してはどうか(岩佐)
- 公園の中に、高い樹木や低木を植えて防災公園としてはどうか。市内の中心街にプランター花壇を置いてはどうか(大川)



- 第4章「緑を守る」、「緑を育む」、「緑を活かす」、「緑を繋げる」の4つの基本方針に基づき、管理運営、市民意識の高揚、市民・事業者との連携、緑の役割等を考慮して、施策及び目標を検討しました。
- 人材育成については、第4章基本方針「緑を繋げる」の中で、行政やその他組織のあり方を含めていくつかの事業を検討しました。また、緑化フェアを契機に緑化のリーダーである緑のマイスターを増やし、それら民間の力を活かし、主に緑化重点地区の緑化と、市民が緑化意識を高揚し、緑化活動に参画、協働できるような仕組みづくりを行います。
- 各事業で特に緑化重点地区で推進していくものを選定し、第5章重点的取組の中で、重点的に取り組む事業として位置づけました。同章にて、緑の将来像について、ゾーン、骨格軸毎にイメージ図を作成し、ゾーンと事業の関係性がイメージしやすいように工夫しました。

4 目標、PDCA等について

- 目標は、誰もが理解しやすいものを検討してほしい。(内野)
- 庁内での理解がどのように進むかが重要である。毎年改定版ができていけば、庁内の理解が進むと思う。PDCA について庁内での進行管理を適切に行うようにする必要がある。(蓑茂)



- 目標は、4つの基本方針毎に、その内容を再検討し、「緑の質」についての目標も設定しました。
- PDCAについて、行政だけでなく民間の参加によるPDCAの進行管理を行うこととし、組織体制を含めて検討を行いました。